

# 山形県職員 公務研究セミナ一 (保健師職)

1

令和5年2月14日



# 自己紹介

置賜総合支庁保健福祉環境部（置賜保健所）  
子ども家庭支援課 保健師

# 山形県保健師が働いている場所は？

## ○ 保健所（4か所）

村山保健所（山形市）

最上保健所（新庄市）

置賜保健所（米沢市）

庄内保健所（三川町）



保健所以外は他にも・・・

- 県庁（母子、感染症、介護保険、障がい福祉、健康づくり、職員の健康管理）
- 総合支庁（職員の健康管理）
- 精神保健福祉センター
- 児童相談所
- 障がい児入所施設（最上学園、やまなみ学園、鳥海学園）



# 県と市町村保健師の役割の違いは？

## ◆保健所

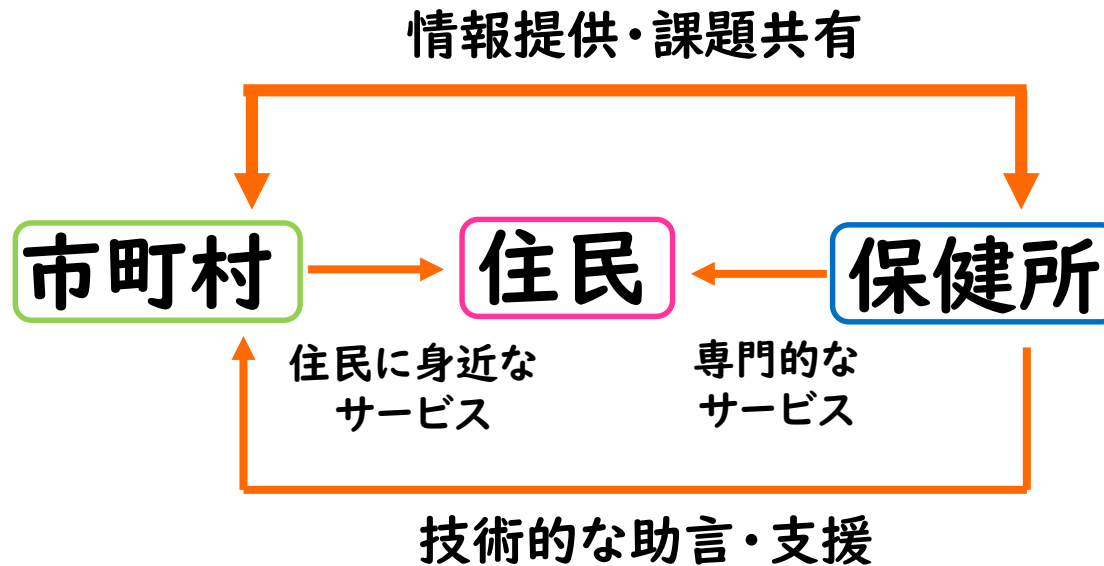
- 広域的、専門的な保健サービスの提供
- 災害を含めた健康危機管理のための体制づくり
- 新たな健康課題に対する先駆的な保健活動の実施・普及
- 地域の健康情報の収集、分析及び提供
- 各種保健医療福祉計画策定への参画
- 管内市町村との重層的な連携体制の構築
- 保健、医療、福祉、介護等の包括的なシステムの構築
- ソーシャル・キャピタルを活用した広域的な健康づくりの推進

# 県と市町村保健師の役割の違いは？

## ◆市町村

- 住民の身近な健康問題への取組み
- 地域の健康課題の把握と健康的なまちづくりの推進
- 各分野に係る保健サービス等を関係者と協働して企画  
・立案・提供・評価
- 担当地区に責任を持って活動する地区担当制の推進
- 地域特性を反映した各種保健医療福祉計画等の策定と  
参画
- 平常時から災害を含めた健康危機管理体制の整備

# 県と市町村保健師の役割の違いは？



- ・住民の身近な健康問題への取り組み
- ・地域のケアシステム構築

- ・広域的な健康課題の把握とその解決への取り組み
- ・広域的・専門的な保健サービス等の提供
- ・地域の健康情報の収集・分析・提供

# 保健所の業務

## (主に保健師が携わる業務)

- 企画調整担当
- 感染症対策担当
- 精神保健福祉担当
- 健康増進担当
- 保健支援担当 (母子・難病)





# 子ども家庭支援課の仕事

- 在宅難病患者、長期療養児（小児慢性特定疾病、医療的ケア児）の支援に関すること
  - ➡ 訪問、ケース会議への参加、災害時支援
- 発達障がい児の支援に関すること
  - ➡ 会議や研修会の開催、ペアレントサポート講座
- 生涯を通じた女性の健康支援に関すること
  - ➡ 来所や電話相談、女性の健康セミナー

# 私の担当している業務

## ペアレントサポート講座の実施

➡育児困難感を抱える保護者を支援するためのプログラム。  
子どものいい行動をほめることを学びます。

- 支援者対象の研修会の企画・運営
- 保護者対象の講座の企画・運営

# ～私の仕事の1日～

- 8 : 3 0 業務開始  
メールチェック・今日の業務の確認
- 9 : 0 0 パARENTサポート講座の準備
- 1 0 : 0 0 電話対応・会議資料作成
- 1 2 : 0 0 お昼休憩
- 1 3 : 0 0 パARENTサポート講座
- 1 5 : 3 0 講座終了
- 1 6 : 0 0 帰所、業務報告書の作成
- 1 7 : 1 5 業務終了



# 印象に残っている業務

- 子育て中のお母さんたちとの出会い
- 災害支援に関すること

# 自己紹介

村山総合支庁保健福祉環境部  
(村山保健所) 保健企画課 保健師

<入庁後の経歴>

令和3年～ 村山保健所

# 精神保健福祉担当の仕事

- 地域住民のこころの健康に関すること
  - ➡電話及び来所相談、精神科医師による相談の実施、講座の開催（出前講座）
- ひきこもり支援対策、自殺対策等に関すること
  - ➡家族教室や研修会の開催、普及啓発事業など
- 精神障がい者への支援に関すること

# 私の担当している業務

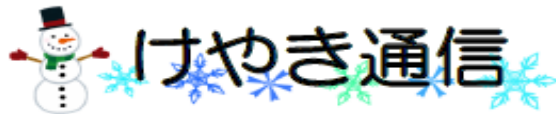
## ●ひきこもり対策事業に関すること

- ・保健師、精神科医師によるひきこもり相談の実施
- ・家族交流会（家族同士の交流の場）の実施
- ・ひきこもり家族教室の企画・運営、通信の発行

## ●こころの健康づくりに関すること

- ・こころの健康に関する相談対応
- ・地域住民を対象とした講座の開催

## ●精神障がい者の支援に関すること



雪も降り寒い日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年度のけやき通信を発行します。ぜひ、ご覧ください。

## 令和4年度「ひきこもり」について学ぶ会を開催しました！

日 時：令和4年12月2日（金）13時30分～15時45分  
場 所：村山総合支庁西庁舎（寒河江市）

10名以上  
多くのご家族が  
参加してくださ  
いました！

### <第1部>

講話：「ひきこもり」の基礎知識 ～理解と対応について～  
講師：社会医療法人二本松会かみのやま病院 村岡 義明 先生

### 回復の過程

- ・回復に必要なことは、『安心・安全な環境』でしっかり休むことができ、『理解してくれる人』がそばにいること。
- ・「コミュニケーション（家族との会話等）」→「日常生活スキル（家事等）」→「家庭外の活動（散歩する等）」→「本人の楽しみ（趣味等）」の順に進むと回復の原動力になる。

### 会話の手始めとして「あ・さ・お・そ」

- ・（あ）『あいさつ』；「おはよう」「おやすみ」「買い物に行ってくる」などと声をかける。返事がなくても気にせず、さらっと一言声をかける。何より声かけを続けること。
- ・（さ）『誘いかけ』；「図書館に行くけど一緒に行かない」と家族の用事に付き合ってもらった感覚で声をかける。
- ・（お）『お願い、お礼』；「洗濯物をたたんでおいてくれると助かる」など具体的でマイペース、短時間で終わるものをお願いしてみる。応じてくれたら必ずお礼を伝えること。
- ・（そ）『相談』；「今日の夕食は何をしよう」等と日常の事柄を相談してみる。

### 働きかけに対して反応がなかった場合

- ・行った「対応」を振り返ってみる。その際に、支援者などの第三者も交えて話す。
- ★1日1回親自身が楽しめることをするなど、家族が一人で抱え込まず、周りを巻き込みながら、心のゆとりを持つことも大切です。

### <第2部>

講話：家族の関わり方を知ろう ～関わり方のポイント～  
講師：社会医療法人二本松会かみのやま病院 佐藤 秀実 先生

家族のせいや育て方でひきこもりになったわけではありません。  
原因よりもつきあい方を考えましょう。

### 対応のヒント

- ・犯人探しをせず、子育ての問題として自分や家族を責めない。
- ・お互いあれもこれも言わず、リラックスし安心して過ごせる環境を。
- ・本人中心の生活（過干渉・過保護）から少しずつ離れてみて、そっと本人を見守る。
- ・家族自身の楽しみを見つけること、家族だけで抱え込まない（相談する）。

### 良いコミュニケーションのコツ

何を話すかと同じくらい、『どのように話すか』も大切です！

1. 視線（顔）を合わせる
2. 手を使って表現する
3. 身をのりだして話をする
4. はっきりと大きな声
5. 明るい表情
6. 話の内容が適切（例）誰が・いつ・何を

### グループワーク

- ・当日の参加者を2グループに分けて行いました。初めて顔を合わせた方々も多かったと思いますが、和やかな雰囲気なか話をしました。
- ・①どこから来たか（任意）②誰のことで相談しているか（任意）③最近の心配事④ストレス解消法について自己紹介をしました。
- ・講師より、「家庭内の悩みを抱えず共有することも大切」とのお話がありました。

### \*家族グループ交流（けやきの会）のご案内\*

家族同士で普段思っていることなどを話して、ほっとひと息つきませんか。  
村山総合支庁西庁舎（寒河江市）と北庁舎（村山市）で開催しています。  
今年度の日程は下記のとおりです。

・2月28日（火）北庁舎 11:00～12:00



※事前申し込みが必要です。お申込み等は下記の連絡先にお電話をお願いします。  
※参加人数や新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法等を変更する場合がございますのでご了承ください。



編集発行：村山保健所保健企画課 担当：太田、壘  
〒990-0031 山形市十日町1丁目6-6  
TEL：023-627-1184（担当直通）

家族教室を開催し、その内容を希望する  
家族等に向けて「通信」を発行しました。



# ～私の仕事の1日～

- 8：30 業務開始  
メールチェック・今日の業務の確認
- 9：00 前日までの記録作成や電話対応など
- 10：00 保健所出発、家族交流会の準備
- 11：00 家族交流会の開催（北庁舎）
- 12：00 お昼休憩
- 13：00 ひきこもり相談の準備
- 14：00 ひきこもり相談の実施（北庁舎）
- 16：00 相談終了
- 17：00 帰所、上司に報告
- 17：15 業務終了



# 県保健師の魅力・やりがい

◆法律・予算に基づき、地域のニーズに応じた事業の提案や、企画及び運営ができる

➡自分が主で担当し、地域住民や関係機関への周知から当日の運営まで実施することで、仕事の達成感が生まれる

➡関係機関などとながりができ、仕事が楽しくなる

◆事業や訪問を通して、地域住民と直接関わり支援することができる

◆県職員及び保健師としての研修を受ける機会がある

➡担当業務の基本的な知識や技術を学ぶことができる

# 印象に残っている業務

- 当事者、家族との出会い
- 家族教室の企画、運営
- 新型コロナウイルス感染症の対応



**ワーク**  
やりがいのある  
仕事



**ライフ**  
家事、育児  
趣味



# 最後に・・・

県の保健師は、異動により勤務地が変わったり、保健所以外の職場に勤務することもあり、様々な出会いや仕事を通して自分自身が成長できる場所です。

本日、説明を聞いて県職員の仕事のことを少しでも知ってもらえたとしたら嬉しいです！

ぜひ、私たちと一緒に働きましょう。

山形県では、人材育成ガイドラインが作成されています。各保健所では保健師同士が情報交換をする時間が設けられている等、担当以外のことについても学びを得る機会が多くあります。



ご清聴

ありがとうございました!

